

歯周病と脳梗塞は関係あるの？

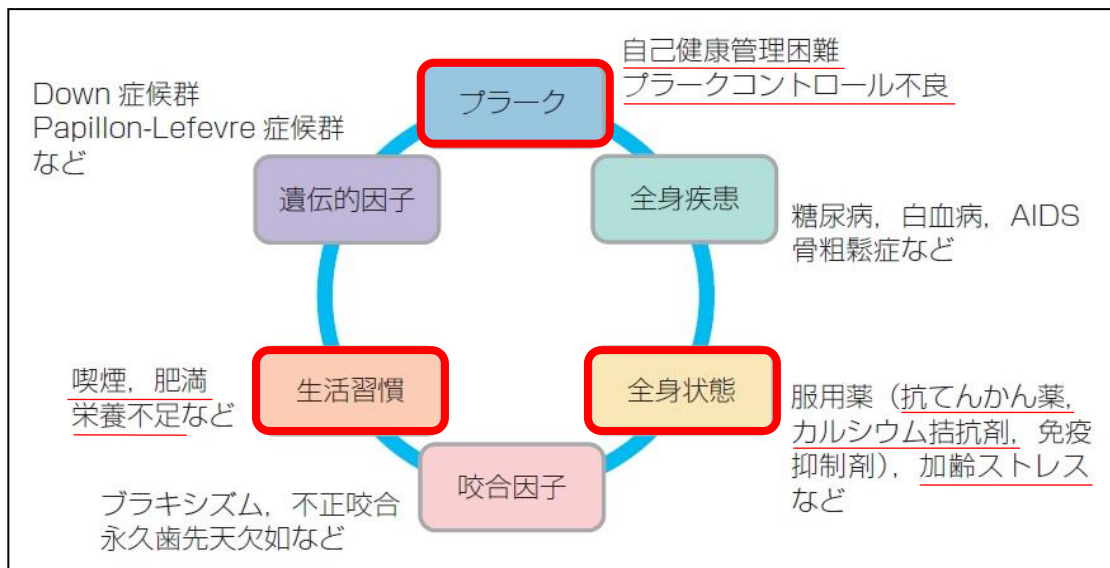
～全身の健康につながる、歯周病予防 PART3～

はじめに

脳血管疾患は、日本人の死因第4位です（平成27年 厚生労働省 人口動態統計）。脳梗塞は、脳血管疾患の中でも死亡率が高く、高血圧や高脂血症、糖尿病などの生活習慣病により発症リスクが高まります。また、運動障害を合併することが多く、麻痺や筋力低下で歯磨きが難しくなり、歯周病に罹患しやすくなります。第24号より歯周病と全身の健康について連載してきましたが、連載最後となる今回は、歯周病と脳梗塞の関係についてご紹介します。

歯周病ってどんな病気？

歯周病はプラーク中の歯周病原細菌を原因とする病気です。歯周病の発症には細菌因子が関わっていますが、他のリスクファクター（病気を発生させる確率を高めると考えられる要素）が多いほど、歯周病を発症する確率が高くなります。特に、喫煙や肥満などの生活習慣、加齢、ストレスなどの全身状態は脳梗塞の発症にも影響を及ぼします。

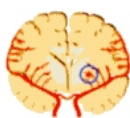


スペシャルニーズデンティストリー・ハンドブックより引用

脳梗塞ってどんな病気？

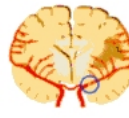
脳梗塞は、脳出血やくも膜下出血などの小内脳血管障害の一つで、脳内の血管が詰まって脳組織が壊死を起こした病態をいいます。脳梗塞は、脳血管の血流障害の原因によってラクナ梗塞・アテローム血栓性脳梗塞・心原性脳塞栓症・その他に分類されます。

ラクナ梗塞



細い血管が詰まって起こる

アテローム血栓性脳梗塞



太い血管が動脈硬化を起こして
細くなったり、詰まったりして
起こる

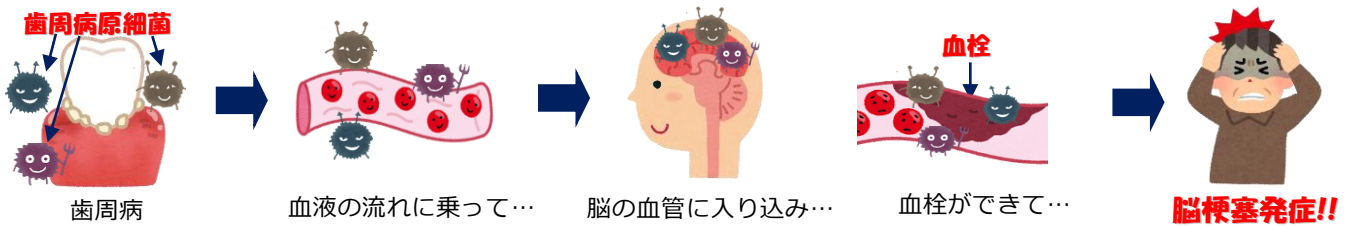
心原性脳塞栓症



心臓に出来た血栓によって太い
血管が詰まって起こる

歯周病と脳梗塞の関係

歯周病原細菌は、血液の流れに入り込んで血液の凝固を起こし、血液の流れを障害します。歯周病が重症なほど、歯周病原細菌は容易に血液の流れに入り込みやすくなります。また、脳梗塞発症後の合併症も歯周病のリスクファクターになります。



脳梗塞の合併症と歯周病のリスクファクター

脳梗塞は血流が止まって壊死した脳の部分によってその症状が異なります。代表的なものに運動障害・嚥下障害・言語障害があります。脳梗塞の合併症と歯周病のリスクファクターとの関係を表に示します。

脳梗塞の合併症	症状	歯周病のリスクファクター
運動障害	半身麻痺や筋肉の緊張により、手足の痛みや変形が起こる。	歯磨きが難しくなり、 <u>プラークコントロール不良</u> になりやすい。
	口唇や舌の運動障害により、お口の機能が低下する。	お口の中に食物残渣がたまりやすくなり、 <u>歯肉が腫れやすくなる</u> 。
嚥下障害	食べ物をうまく飲み込めない。	<u>栄養不足</u> になりやすく、 <u>全身の免疫力が低下する</u> 。

降圧剤・抗てんかん薬と副作用

脳梗塞の危険因子である高血圧や、合併症であるてんかんで服用する薬には、口腔乾燥や歯肉増殖（歯肉がもこもこ腫れる）などの副作用がみられることがあります。

	代表的な商品名	副作用
降圧剤	アムロジン®	歯肉増殖 (Ca拮抗薬)
	ノルバスク®	
	アダラート®	
抗てんかん薬	アレビアチン®	歯肉増殖
	ヒダントール®	
	アクセノン®	
	テグレトール®	口腔乾燥



患者：73歳、男性
疾患名：糖尿病、脳梗塞の後遺症による失語症
服用薬：アムロジン®、他7種類
口腔内：歯肉増殖を認める。

脳梗塞と歯周病を予防するためのポイント

脳梗塞の主な危険因子は高血圧、高脂血症、糖尿病です。日々の生活を見直しましょう。

- ◆ 飲酒や喫煙、過度のストレスは高血圧を招きます。飲酒、喫煙習慣の改善とストレスをためない生活を！
- ◆ 定期的な健康診断で、血糖値の管理をしましょう。
- ◆ 運動不足を解消し、糖尿病や脂質異常を予防しましょう。

歯周病は、毎日の歯磨きや定期的な歯科通院で管理することが大切です。

- ◆ プラークコントロールが最も重要です。ホームケアやプロフェッショナルケアで管理しましょう。
- ◆ 喫煙は、脳梗塞・歯周病のリスクファクターです。禁煙してどちらも予防しましょう。

栄養指導のご案内

当センターでは、栄養士による栄養相談（栄養に関する悩みや困りごとなど）を行っています。栄養相談をご希望の方は、スタッフまでお気軽にご相談ください。

